

北海道航空ビジネスネットワーク（事務局：北海道機械工業会）が、
2020年4月1日（水）付 日刊産業新聞 に紹介されました。

道機工の航空ビジネス検討会

北海道機械工業会に北海道航空ビジネス検討会（HAB）が設立され、約1年半が経った。目的は、航空機産業分野への参入意欲が高い道内ものづくり企業を後押しするため、当初は参画企業14社、参画支援機関9機関でスタートした。その後、事務局を務める道機工の地道な活動が実を結び、2020年2月1日時点で24社、12機関に拡大、会員の中から道内初となるNadcapを取得する企業も出てきた。

HABは2018年 日本製鋼所がNadcapを取得して弾みを付けた。

HABの2019年度の活動は、交流会を2回開催したほか、専門家を派遣し会員企業1社がNadcapを取得。また、1社が道内中小企業で初となるJISQ9100取得

設立から1年半 認証取得企業も

9、11月にメッセナゴヤ2019と航空宇宙フェスタふくしま2019への出展を支援したほか、川下企業調達ニーズへの提案マッチング支援など多角的にサポートしており、着実に成果が出ている。

このほか、昨年10月に航空機関連産業参入促進フォーラムを開催したほか、技術講座シリーズ「ものづくりから飛行機へ！」は好評で今年度5回実施した。同検討会では2020年度も、NadcapやJISQ9100の取得など技術だけでなく、航空機産業分野で求められる品質管理体制を訴求すること、展示会では、昨年7月に北洋銀行ものづくりテクノフェア201

審査受審となった。加工技術だけでなく、品質管理体制でも航空機産業分野へ訴求できる環境が整いつつある。展示会では、昨年7月に北洋銀行ものづくりテクノフェア201